



たづがね

(鵲が音)

「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「夢いっぱい」の西北台っ子

対話スキルの向上をめざして～主体的、対話的で深い学びの学習へ～

今年度から新しい学習指導要領による教育課程がスタートしました。日々の授業においては「主体的、対話的で深い学び」のある学習に取り組んでいます。

さて、本校の児童は情報を正しく読み取ったり話を正確に聞き取ったりすることに課題があることが学力調査の結果から見えてきました。授業では、この課題を意識しながら正しく表現したり曖昧な表現を正したりしながら目的を持って取り組んでいるところです。また、対話をする場面を意図的に設定するようにしていることから、チャレンジタイムを活用して対話スキルの向上にも取り組んでいます。6年生では「うんうん」と相づちを打ったり「それはどうしてなの?」と問い返したり「なるほど。



▲対話タイムに取り組む6年生

でも、わたしは・・・」と自分の意見を返したりする姿が増えてきました。対話が充実することで学びが深まっていくことを期待しています。

12月いよいよパソコン1人1台へ

羽咋市の小中学校では12月に1人1台のパソコンが配備されることが決まっています(当面は2年生以上から)。準備が整った学校から授業だけでなくあらゆる場面で活用していく予定です。子どもたちにとってパソコンは「ノートや鉛筆と同じ学習の道具」になります。パソコンを使った授業はこれまでも行ってきましたが1人1台という環境はこれまでの授業を一変させることになると言われています。教育がまた大きく変わる時が来ました。



学校は、保護者への配付するお便りを少しずつペーパーレスへ移行してことを検討しています。紙の節約だけでなく教職員の業務改善にも効果が期待できます。保護者のみなさまにはご理解とご協力をお願いします。

朝7時30分以降に到着するようにお願いします。ご協力ください。

7時30分より早く到着した児童は玄関前で待つこととなりますが、待つ人数が増加傾向です。感染症対策と天候の悪い日が増えることを考えると7時30分過ぎに学校へ到着するよう自宅を出てくる時間を調整していただきますようお願い致します。また、毎朝の検温にご協力いただきありがとうございます。検温はこの先も継続します。引き続きよろしくようお願い致します。